

(様式第3号)

平成18年度調査研究中間報告書

調査研究 課 題	農作物中の残留農薬一斉分析法の検討
計画期間	平成18年度～ 19年度 2年間
調査研究 計 画	農作物中の残留農薬について、より迅速に、多成分を一斉分析できる方法を検討する。18年度は、前処理法とガスクロマトグラフ質量分析装置による測定条件について検討する。
進歩状況	約50種類の農薬について、標準品の整備、ガスクロマトグラフ質量分析装置による測定条件の検討を行っている。また、多機能カートリッジを用いた迅速クリーンアップ法を検討中である。
これまで の成果の 概 要	コンディショニング不要の多機能カートリッジによる迅速スクリーニング法について調査し、使用する溶媒の種類や量について検討中である。
今後の 計画・課題 対応方法	より多くの食品について、添加回収試験を行い、実用化のためのバリデーションを行う。また、LC/MS/MS分析対象農薬を含め、対象農薬の拡大を図る予定である。